



岩松小学校だより



学校だより 第11号

令和8年6月12日発行

発行者 校長 真子靖弘

禁止から自律へ～親子で考えるスマホとの付き合い方～

子どものスマホやタブレット端末などの使い方について、一緒に考えませんか？



明後日の**6/14(日)**のフリー参観デーに「**スマホ教室**」を開催します。ぜひ、「スマホを適切に使うとはどういうことなのか」を子どもたちと一緒に考えていただければと思います。国の最新動向を見ても、スマホ利用は「外側から一律に縛る（規制）」のではなく、「内側からコントロールする力（自己調整・自律）を育てる」方向へ進んでいます。他自治体の一律規制が議論を呼ぶ一方で、**本校が取り組んでいるのは「主体的なルールの納得感」や「自己管理能力の育成」という教育的アプローチ**です。「生活のきまり」とも似ていますが、一律に『ダメ！』と禁止するのではなく、**正しく恐れ、リスクをコントロールしながら活用する力を育むことが大切だと考えています**。子どもたちが犯罪に巻きこまれたりデジタル依存になったりしないよう、小学生のうちから**自己管理する力**を培っていきたいと思います。ご参加、お待ちしております。

一生モノの健康を自分の手で！

6/4(木)、小城・多久歯科医師会の皆様のご協力のもと、全校児童を対象とした「**歯を守る会**」を開催しました。



今回は、各教室に2名の歯科医師と2～4名の歯科衛生士さんという大変手厚い体制で入っていただき、専門的なお話や一人ひとりに寄り添ったブラッシング指導をしていただきました。子どもたちは真剣な表情で、自分の歯の磨き方を見つめ直していました。

口腔ケアは、単にむし歯を防ぐだけでなく、全身の健康や豊かな人生に直結する一生ものの習慣です。人から言われて磨くのではなく、子どもたちが「**自分の体のために、自ら正しい生活習慣を選んで続ける**」という**自律的な姿勢**を持てるよう、今年度の校内研究主題でもある「自己調整する力」を健康教育の面からも育んでいきたいと考えています。

ミシン名人への第一歩～地域の方の協力を感謝～

5/30(木)・6/4(木)の2日間にわたり、**6年生**の家庭科の時間に、**牛津高校**の生徒の皆さんや地域ボランティアの皆様をお招きし、ミシンの丁寧な指導をいただきました。



子どもたちが挑戦したのは「**ナップサック作り**」です。最初は慣れないミシンや裁縫に苦戦していた子どもたちも、優しく声をかけながら並走してくださる皆さんのサポートのおかげで、コツを掴んでどんどん上達していきました。最終日の最後には、全員で笑顔の集合写真を撮影し、心を込めて書いたお礼の手紙を渡しました。**物づくりの技能だけでなく、人とのつながりの中で感謝の心を育む**という、子どもたちの「心の成長」も見られた素晴らしい2日間となりました。完成したナップサックは、早速、翌日6/5(金)に行われた吉野ヶ里体験学習で使用しました。自分だけの特別なバッグを背負って臨む校外学習は、いつも以上にワクワクした時間になったようです。

ここで、子どもたちが綴った手紙の声を一部紹介します。

- ・「牛津高校の皆さんは、とても教えるのが上手でした。教えてくれてありがとうございます」
- ・「ナップサック作りで高校生のみなさんが来てくれて嬉しかったです。また来てほしいです！」
- ・「高校生のみなさんのおかげで、玉留めや波縫いができるようになりました。ありがとうございました」
- ・「ナップサック作りを手伝ってくれてありがとうございました。楽しかったので、また違うのも作ってみたいです！」
- ・「ミシンが得意になったので、とても嬉しかったです！」



6/14日(日)は「フリー参観デー」です！

6/14日(日)は、**フリー参観デー**として、3時間目までの授業を公開いたします。当日の詳しい日程や時程につきましては、学校ホームページに掲載しております。ご確認いただければ幸いです。